

第3章 日高市の環境課題

環境分野に関する現況調査やこれまで取り組んできた環境施策、平成 26 年度に実施した市民・事業者アンケートなどから明らかになった本市の環境課題を以下のとおり整理しました。

なお、これまでの取り組みの成果と、今後の施策の展開に向けて抽出した個別の課題は、「第 5 章 環境施策」に示します。

1. 自然環境に関わる課題

日高市は、高麗川などの清流や、日和田山、巾着田をはじめ、緑豊かな自然に恵まれています。また、これらの豊かな自然は、カワセミをはじめ様々な生き物の生息・生育環境となっています。このような貴重な自然を次世代に残していくために、自然と人のかかわりについて意識するとともに、恵み豊かな自然や生態系を守り育てていく必要があります。



日和田山から望む春の巾着田

2. 生活環境に関わる課題

大気は、概ね良好な状況にありますが、光化学スモッグや PM2.5 などの情報提供を継続していくことが求められています。主な河川における水質は、増水期において概ね良好な状況にありますが、濁水期において一部水質が悪化する傾向がみられます。騒音は、国道 407 号で環境基準を超過している傾向が見られ、日常生活によって生じる騒音も含めた市民からの要望も多くなっています。また、野外焼却による煙や悪臭、雑草除去などの空き地・空き家の管理、ペットのふんなどの相談が寄せられている状況です。



クリーン日高市民運動

生活や事業活動などを通じて起きる公害は、わたしたちの一番身近な問題として捉え、一人ひとりの意識啓発や、規制・基準の遵守などについて推進していくことが必要です。

3. 文化環境に関わる課題

日高市は、市西部に連なる丘陵地、山林の広がる緑豊かな山地、丘陵地の裾を蛇行する高麗川、豊かな緑を背景にもつ巾着田などにより特色ある景観を織りなしています。また、巾着田曼珠沙華公園、高麗郷古民家、高麗家住宅、高麗神社、聖天院など歴史的・文化的に優れた貴重な景観資源が点在します。



国指定文化財高麗家住宅

また、圏央道の整備によりまちの活性化が期待される一方、乱開発等を防止し、秩序あるまち、市民の快適な生活を損なわないまちとして発展していくことが求められています。

日高市の緑あふれる豊かな自然や、歴史ある文化的遺産は、市民の心と生活に潤いと様々な恩恵をもたらしており、豊かな自然、すぐれた景観、歴史・文化を保全しつつ、これらと調和した快適なまちづくりを行っていくことが必要です。

4. 地球環境に関わる課題

市内には、セメント製造工場があり、市の温室効果ガス排出量は、セメント製造工程で発生する二酸化炭素がその約半分を占めるという特性を有しています。一方で、家庭系および事業系の可燃ごみをセメントの原燃料として処理（資源化処理）することで、焼却による温室効果ガスの排出量削減とごみの資源化に取り組んでいます。



市役所屋上の太陽光パネル

限りある資源の利用を最小限に留めるため、再資源化を継続的に行うとともにごみの発生を抑制していくことが重要です。

東日本大震災以降、原子力発電所の停止により、国の温室効果ガス排出量は増加傾向にあるなか、着実な目標の達成に向けて対策の強化が求められており、新たな局面を迎えています。

このような環境問題の深刻化は、今日の豊かで便利な生活基盤を実現するために、大量消費、大量生産、大量廃棄型の経済活動を行った結果によるものです。このことから、わたしたちの生活そのもの、そして事業活動が、環境に大きな負担をかけていることを認識する必要があります。

豊かな環境を次の世代へ引き継ぐためにも、日常生活や事業活動における価値観や生活そのものを見直し、低炭素社会を構築していくことが必要です。